



季刊



弥生の出雲王に出会える



# 出雲弥生の森博物館だより

## IZUMO YAYOINOMORI MUSEUM

### 第17号

(2015年4月)

### 祝！開館5周年

### 出雲弥生の森まつり2015

今年、博物館が開館して5周年を迎えます。開館記念日の4月29日を中心に「出雲弥生の森まつり」を地元の博物館応援団「弥生の森おおつ」との共催で開催します。

4月25日(土)

★ 無料  
● 有料

#### ★ オープニング

9時30分～  
大津小学校児童と樋野達夫先生による古代体験学習発表・土笛演奏など



土笛演奏のようす

#### ★ 館長のおはなし

10時～

● お茶席

10時～

#### ★ 5周年記念イベント

13時～

博物館へ集まろう！

みんなで風船を飛ばそう

餅まきもするよ

#### ★ やすみちゃんクイズ

14時～

4月26日(日)

● 勾玉・缶バッジづくり 10時～

● つきたてお餅の販売 10時～

#### ★ 四隅突出型墳丘墓

ガイドサービス 10時～・14時～

#### ★ 博物館探検隊

13時～・15時～



やすみちゃんクイズのようす

25日・26日ともやってるよ！

● 屋台村

● 手作り手芸品の販売

★ クイズに答えて、わたがしをもらおう！

★ 野外遊びコーナー 10時～

・フリープロロー(吹き矢)

・まてばしい飛ばしに挑戦!!

・イノシシ狩りに挑戦だ！



まてばしい飛ばし

4月29日(水・祝)

#### ★ 古代体験フェスティバル

13時～16時

● ぐるぐるまいてカゴづくり

鳥取県立

むきばんだ史跡公園

#### ★ 弥生の土器

で、古代米を炊いて食べよう！



みよし風土記の丘・

広島県立歴史民俗資料館

#### ★ 見返りの鹿ペーパークラフト

をつくってみよう！

八雲立つ風土記の丘



見返りの鹿ペーパークラフト制作のようす

● 縄文アクセサリーづくり体験

古代出雲歴史博物館

● オリジナルプラ板づくり

荒神谷博物館

● オリジナル鬼瓦づくり

出雲弥生の森博物館

5月2日(土)～6日(水・祝)

日替わりイベントを開催

します！

※詳しくは博物館HPを

ご確認ください。

確認ください。



★開館5周年記念メッセージ  
弥生の森公園を  
みんなの手で美しく

フレンドクラブ 井上 明男  
弥生三月は桜色。季節がせめぎ合う公園に咲く姿がいい・。

六十二年前に弥生時代の墳丘墓が発見され、その一部が、国の史跡に指定されました。沢山の人たちの労力と努力と思いが集結し、ガイダンス施設として出雲弥生の森博物館がオープンし、はや五年が経ちます。

古代からのメッセージを発信しつつ、歴史探求の場として多くの方々の注目を集め、今でも、貴重な文化財の展示や講演会、体験教室など、継続的に実施されており、多くの来館者があります。

この地区で自然に動き出して出来たフレンドクラブは、「友愛」の方針を下に、奉仕活動を行っていきます。笑顔のまちづくり、歴史を活かした地域づくりになるよう、引き続きご理解ご協力をお願いします。追記…このように立派な公園ができたのは、弥生の森公園の計画に伴う諸問題の交渉など、難題解決の努力と指導力を発揮された、顧問の鐘推亨氏始め、多くの方々の賜物です。

発掘当時の思い出

西光寺 長永 禪教  
ある日、身なりの立派な人がお寺を訪ねて来られました。話を聞いてみると「西谷の丘で発掘調査をするが、学生の宿を探しているところですよ」と言われます。話を聞き了解しました。最初は学生が50人程度来て、人数の多さにびっくりしましたが引き受けました。

それから9年間、30人程度の学生が、年2回春休み夏休みにお寺を訪れました。途中から、食事の予算が少なくなったとかで、お寺の台所を使ってもらいました。親元を離れ、煮炊きしたことのない学生は苦労していたようです。

また、夏場の発掘は特に厳しく、学生らは毎日泥んこになって帰ってきます。お寺の近所の方が2軒お風呂を提供してくれました。

風呂焚きと洗濯も学生が交替で行っていました。実家ですることがないようで、四苦八苦していたことが思い出されます。

歴史・文化の情報発信基地

弥生の森おおつ 青木 博  
開館5周年おめでとうございませう。博物館では開館以来、様々な

企画で展示・講座などを実施しておられますが、近年の展示で印象的だったのは、速報展「出雲大社境内遺跡の成り立ち」です。時代が違いう3層の地層の写真などは、大変興味深いものでした。

今後も、地域の歴史・文化の情報発信基地として発展していただきたいし、また小中学校へのアウトリーチを増やすなど、郷土の理解を深める活動も大切にしていただきたいです。

西谷ニユースと甲子園

堀江徳四郎

出商は丘の上の学舎でした。グラウンドの横で発掘が始まりました。生徒と共に見学した時、その後十年にわたる発掘研究の後に顕れる「古代出雲王国」の姿はまだ見えてはいません。島大の渡邊先生の笑顔と学生諸君の汗のしたたる夏の発掘が、今でも目に残っています。学生の手書きの『西谷ニユース』が大津町の各戸に配布され、グラウンドで白球を追っていた野球部が甲子園出場したのもその頃でした。いま白い墳丘に立つと、出雲平野を見渡していた古代出雲の人々と出商の若人が重なって見えます。

★春季企画展

「出雲の青と藍」

「きれいな青をみにきませんか」  
開催中〜5月11日(月)

【観覧無料】

企画展示室では、弥生時代や古墳時代 有力者に愛された装飾品や、藍染めの道具や作品約100点を展示しており、中でも大津町で行われた藍染めは必見です。

江戸末期に隆盛を極めた「出雲藍板締め」の版木は、全国でも唯一現存するもので、国の「登録有形民俗文化財」に登録された貴重なものです。「井筒屋染工場(浅尾染物店)」の貴重な型染め、更紗小紋、色染めなどの見本は、とてもきれいな色をしています。また、県内で唯一の筒描き藍染めを行う「長田染工場」の美しい作品も展示しています。

お友達やご家族を誘って、ぜひ見に来てください。

(原田 和紀)



展示室のようす

★シンポジウム  
『古代山陰道』を考える  
―杉沢遺跡道路遺構発見の  
意義―を開催しました

市文化財課では、2月15日(日)にシンポジウム『古代山陰道』を考える―杉沢遺跡道路遺構発見の意義―を開催しました。

古代山陰道とは、『出雲国風土記』に「正西道(まにしのみち)」と記されている官道(かんどう)(国家が整備・管理した大規模道路で、都と地方とを結ぶ道路)です。近年、出雲市斐川町の杉沢遺跡をはじめ、古代山陰道と推定される道路遺構の発見が相次ぎ、ルートの具体的復元など、研究が進みつつあります。

シンポジウムには、文化庁の近江俊秀文化財調査官をはじめ、考古学や歴史地理学、古代史の研究者を講師に迎え、杉沢遺跡道路遺構発見の意義や、今後の整備、活用について、報告、講演、討議いただきました。要旨は次のとおりです。

○杉沢遺跡では、道幅9mの道路が尾根上で見つかった。地形的にも特異な例であるが、これだ

けの良好な状態、規模で残っている例は全国的にもなく興味深い。

○杉沢遺跡が尾根道であるという点において、軍用的性格についても考えると面白いのではないか。

○官道は古代国家が整備した道路であるが、造り方が地域によって異なる。発見された道路を詳しく見ていくことにより、律令国家の中での多種多様な地域社会が見えてくるだろう。

○保存活用は、住民と行政が一体となつて行う必要がある。住民に愛される史跡とするためには、発掘調査で明らかにした特徴や景観も含めて考えていく必要がある。



熱気にあふれた会場のように

当日は、福岡県や長崎県からの参加者を含め市内外から約200名の参加があり、「杉沢遺跡の価値と重要性を再認識した」「現地見学会を企画してほしい」「保存、公開を望む」などのご意見、ご感想を多数いただきました。

市では引き続き調査、研究を進めるとともに、整備、活用に向けて検討を行っていきます。調査成果につきましては、随時、皆様に報告していく予定ですので、ご期待ください。(佐々木歩美)

**パネル巡回展**  
『見えてきた『古代山陰道』  
―出雲・伯耆・因幡の道をたどる―』  
シンポジウム会場で展示していたパネルの巡回展を開催しています。

- 市役所本庁舎 1階 東側ギャラリーコーナー  
3月27日(金)～4月27日(月)
- 出雲弥生の森博物館 市民ギャラリー展示  
5月2日(土)～6月1日(月)

★博物館アテンドコーナー  
『アテナダントの宝物』

こんにちは！

博物館のアテナダントです

今日お話しするアテナダントの宝物は、お客様との出会いについてです。館内で、素敵な光景を目にする時があります。学校の授業で訪れた子どもさんが、家族を誘って来館し、授業で自分が見聞きした事得意そうに説明していらつしゃる姿を見かけたときです。その姿を見ると、職員の話をかちんと聞いて、伝えてくれていた事が嬉しくて、感動する瞬間です。

博物館の一階は、子どもさん連れでも楽しく遊んで頂けるスペースになっています。「古代衣装」を着て土器パズルを組み立てたり、「キャラクター」を探し、「キャラクター」を探してある「キャラクター」をお友達と一緒に探したり・・・少々騒いでも大丈夫ですよ！小さいお子さんの一番人気は、服を汚さない発掘体験です。あなたも、考古学者になって宝物を見つけてくださいネ！



★平成27年度の博物館展示計画

★企画展(春)

「出雲の青と藍」

「きれいな青を見にきませんか」

開催中～5月11日(月)

★企画展(夏)

「食の考古学」(仮題)

7月4日(土)～8月31日(月)

★特別展

「出雲王」(仮題)

10月24日(土)～12月14日(月)

★企画展(春)

「鉄の歴史」(仮題)

2月27日(土)～5月9日(月)

★ギャラリー展

「しかくちやま」

「大社の学校に眠る遺跡」

開催中～6月1日(月)

以降、3回程度開催する予定。

★その他、展示に合わせて講演会・体験教室などを開催する予定です。

新・指定文化財

「北光寺古墳」見学会

6月6日(土)午前

※出雲神西駅の南にある山に築かれた、市内で2番目に大きな古墳をご案内します。詳しくは、広報いずも6月号で。

★講座のご案内

▼出雲弥生の森博物館

職員リレー講座

出雲の文化財や歴史、最新の発掘成果について、文化財課の職員がわかりやすく語ります。

5月23日(土)

「田儀櫻井家と越堂たたら」

「発掘調査の成果と展望」

【講師】幡中 光輔

6月13日(土)

「浮浪山鯉淵寺の歴史と調査(仮)」

【講師】石原 聡

7月4日(土)

「遺構が語る出雲大社」

「近年の発掘調査結果」(仮)

【講師】三原 一将

右の講座はいずれも

●時間 14時～16時

●受講料 300円

●定員 80名

講座の受講には事前申込みが必要です。電話・FAX・博物館HP等でお申し込みください。

★館長コラム⑬



大学の考古学研究室で助手をしていた頃は、研究室にかかってくる様々な電話への対応に追われました。その一部を紹介しましょう。

マスコミからは、「ソクラテスが収監された牢獄の発見を外電が伝えているが、これは大ニュースなのか」といった問い合わせがよく来ました。NHKから「考古学者は普段どんな鞆を持って歩くか」と聞かれ、僕は「ショルダーバッグだと答えたら、しばらくして始まったドラマの中で、芦田伸介扮する考古学者がショルダーバッグで山道を歩いていました。

古墳の石室はどのように発掘するのかと東宝映画から質問が来たので、「一体、どんな映画なのですか。ヒロインは？」まだ企画段階なので秘密です。調査の目的によっては発掘法が違うかもしれません。絶対には口外しないでください。石室から怪獣の卵が発掘されるんです。……これが企画倒れになったのは幸いでした。発掘が始まるきっかけについて知りたい、と言って来たのは小説

家の卵。「畑を耕していたら土器が出た?…うーん、それではインパクトが弱いから、旧石器にしましょう。畑の横に洞窟があるんですよ」などと粗筋まで指南したのですが、どうなったことやら。

「畑から壺が出たのですが、届け出が必要ですか」はい。で、土器に縄目模様が付いていませんか」「いいえ、表面はすべすべです」「とりあえず教育委員会に連絡してください」(急に声を潜めて)実は、他人の畑で掘り出した壺に小判が入っていたんです。それは警察に届けてください!」

(渡邊 貞幸)

(発行)出雲弥生の森博物館 2015年4月

〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760

(TEL)0853-25-1841 (FAX)0853-21-6617

(e-mail)yayoi@city.izumo.shimane.jp

http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori

●入館料 / 無料

●開館時間 / 9:00～17:00(入館16:30まで)

●休館日 / 火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始